

再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担 当 課：中部地方整備局 建政部 都市整備課
担当課長名：筒井 祐治

事業名	いぬやまおおはしせん 犬山大橋線	事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	<small>あいちけん いぬやまし おおあざいぬやまあざたか みちよう</small> 自：愛知県犬山市大字犬山字高見町 <small>あいちけん いぬやまし おおあざいぬやまあざせんしょうじまち</small> 至：愛知県犬山市大字犬山字専正寺町			延長	0.5 km
事業概要					
本路線は、犬山市の中心街を南北に縦貫しており、岐阜県各務原市から犬山大橋を経て、国道41号へと接続する幹線道路である。当該区間は、犬山市役所及び名鉄犬山線犬山駅の直近であり、現況2車線の道路であるが、駐停車及び右折車等が原因となって交通渋滞が慢性化している。また、自転車及び歩行者の通行も非常に多い箇所であるが、歩道は設置されているものの、幅員が狭いため非常に危険な状態である。 このため、平成7年度から事業化している。					
H7年度事業化	S45年度都市計画決定 (H12年度変更)	H7年度用地着手	H13年度工事着手		
全体事業費	約23億円	事業進捗率	59%	供用済延長	0m
計画交通量	18,800台/日				
費用便益比	B/C 3.2	総費用 25億円 事業費：25億円 維持管理費：0.36億円	総便益 81億円 走行時間短縮便益：79億円 走行費用減少便益：2.1億円 交通事故減少便益：0.17億円	基準年 平成16年	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化による美しい街並みの形成（道路の改築にあわせ電線類の地中化を行う。） ・円滑なモビリティの確保（バス路線の利便性の向上） ・個性ある地域の形成（犬山城へのアクセスが向上する。） 					
関係する地方公共団体等の意見					
犬山大橋線は、地域交流の促進、交通緩和に重要な役割を果たすとともに、電線類の地中化などにより都市景観整備地区における景観形成に寄与することが期待されており、地元犬山市から早期整備の要望を受けています。（H15.5.2）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
本区間は、犬山市役所や名鉄犬山線も付近にあり、平成12年度に交通バリアフリー法が制定され、同時に進めている電線類地中化整備と合わせて、バリアフリー化の観点からも早急に整備を進めることが望まれており、事業の必要性が増大しています。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地買収は約77%進捗しており、一部工事着工している。 残事業は、用地買収12件、道路工事L=480m、C.C.B工事L=480m。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地交渉や代替地の選定等に時間を要したことから、事業が長期化した。用地買収を完了するため、収用も踏まえ引き続き用地交渉を進め、平成19年度末事業完了を目標としている。					
施設の構造や工法の変更等					
新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。					
対応方針	事業継続				
事業概要図					

